致遠館SSH通信

「志」高く学び続ける生徒たちを育成する青鵲新 STEAM 教育！

佐賀県立致遠館高等学校
佐賀県立致遠館中学校

令和７年１２月８日発行　第８号

２学期を振り返る（その2）2年青鵲課題研究中間報告会

本校の高校第二学年理数科では、「青鵲課題研究」が週3時間開講されています。内容は、理学、工学、農学、医学分野と幅広く、科学的・社会的課題に、大学の先生方からの助言もいただきながら、チームで取り組んでいます。また、この活動は、研究のための専門的知識と技能を高めるとともに、自己の興味・関心や将来へのキャリア形成を見つめ直す機会にもなっています。

前にも書きましたが、探究活動とは、正解があらかじめ準備されていない課題に対して解を見出そうと取り組む活動です。探究力を高めることは簡単ではありませんが、VUCA（変動制、不確実性、複雑性、曖昧性の4つの単語の頭文字）の時代と呼ばれる現代社会で、自分らしく生きていくには必須の力でもあります。

10月17日に「青鵲課題研究」の中間報告会が行われました。今年度の分野は、「数学・情報」「電気電子」「都市工学」「物理」「農学」「化学」「医療系」の7分野です。5つの発表会場に分かれて、1班当たり発表8分、質疑・応答4分でプレゼンテーションを行いました。中間報告会の名前のとおり、研究途上での発表ではありますが、これまでの紆余曲折を経てたどり着いたひとつの成果です。教科の学習や部活動とのバランスを取りながら、チームワークで研究を進める経験は、今後のさまざまなシーンで活かすことができるでしょう。最終報告が楽しみになる中間報告会でした。

指導の先生からコメント

聞く方も真剣

医療班

電気・電子

化学

農学

物理

数学・情報